

鷺羽新聞

倉敷市・倉敷鷺羽高 新聞部

エシカルでつながる 今と未来



バナナの繊維 (左、18 (右)



バナナ繊維について語る仲まきさん(左)

バナナで街をハッピーに

エシカルプロダクトに積極的な取組む地元企業がある。株式会社「シヤバナブル」では、私たちの街をハッピーにしたいという思いから、様々な取り組みが行われている。そのうちの1にバナナ繊維がある。バナナ繊維とは何か、なぜバナナなのかと問うたら、バナナがジェンズになるのか、そんな疑問を「バナナブル」の代表取締役、仲まきさん(左)が答えてくれた。

バナナ繊維は目を付けたのは、仲まきさんが訪れた時にさかのぼる。タイは大抵バナナが収穫された後、木は切り倒され燃やされる。その際に出る廃棄物である酸化炭素が大気中に発生し、1キロほどは問題になっていた。タイでは米の洗米もよく、さらに二酸化炭素を増加させている。仲まきさんが訪れた時に、バナナ繊維の問題を調べて、10年ほど前からバナナ繊維に目を付けた。

バナナ繊維はバナナの葉から取れる繊維と綿を合わせて織られた繊維で作られており、1キロほどは問題になっていた。タイでは米の洗米もよく、さらに二酸化炭素を増加させている。仲まきさんが訪れた時に、バナナ繊維の問題を調べて、10年ほど前からバナナ繊維に目を付けた。

「レ」サイクルから「Up」サイクルへ

兄弟が認める循環型「レ」サイクルの明白な後継者として活動している。その中でも、社会に発信されてはいるが、具体的な取り組みは「LEAP100」を目標に掲げ、着実に進んでいる。LEAP100は、環境問題に取り組む企業や個人が、製品やサービスを通じて社会に貢献する仕組み。LEAP100は、環境問題に取り組む企業や個人が、製品やサービスを通じて社会に貢献する仕組み。

「LEAP100」は、環境問題に取り組む企業や個人が、製品やサービスを通じて社会に貢献する仕組み。LEAP100は、環境問題に取り組む企業や個人が、製品やサービスを通じて社会に貢献する仕組み。

地域の新たな思の場

フードパントリー「兄弟島」が開設された。フードパントリーは、緊急時に食料を供給できる地域拠点のことである。兄弟島では、毎月最後日曜日の本郷の集まりで、フードパントリーの運営について話し合っている。兄弟島では、毎月最後日曜日の本郷の集まりで、フードパントリーの運営について話し合っている。

温かい食事と笑顔

原田さん(左)と原田さんが、地域で活動している。温かい食事と笑顔が、地域を暖かくしている。原田さん(左)と原田さんが、地域で活動している。温かい食事と笑顔が、地域を暖かくしている。

本宅へ繋げるパントリー

兄弟島という小さな町の中で、エシカルな社会に向けた取り組みが広がっている。兄弟島という小さな町の中で、エシカルな社会に向けた取り組みが広がっている。

鷺羽新聞

発行所
岡山県倉敷市
鷺羽高校 新聞部

